

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 8 . 1 . 2 6

発行ナンバー 1 2 4 4 号

確かに・・・

様々な年代の野球部OBが来校して早朝練習をしている・・・実は数年前から市高グラウンド休日の朝はそんな感じです。私の方で、現役生の練習開始まではグラウンドを自由に使って構いませんよ、そんな話をしたところ、OBチームの皆さんが朝から熱心に練習をする形になったのです(平日仕事をしていながら、休日の早朝(しかも1月2月でメチャクチャ寒いです)、野球の練習できます?現役生には、「そういう姿勢」を学ぼう話しています。

先日、来校されたOBの方からこんな話をされました。昨年秋より選手1人1人が明らかに大きくなっているんじゃないか?確かに・・・私も最近部員達を見ていて同じようなことを感じています。特別なトレーニング等をしているわけではありません。ただ、長年の経験で私が意識していること・・・(これは言い方が難しいんですが)オフシーズンは選手に「ゆとり」をもたせるような生活をさせた方が心身の成長に結びつきやすいのではないか、というもの。巨人OBの桑田氏は「練習・練習・練習で選手は伸びない」「練習・栄養・睡眠で伸びるのだ」このようにおっしゃっていますが、それと似た感じのイメージで日々の活動に取り組んでいます。

栄養や睡眠に関しては、家庭の協力が不可欠です。幸い昼食時の様子などを見ると、市高生は(野球部に限らず)家庭がしっかりしている様子が良く伝わってきます。引き続きよろしくお願い致します。

新シーズンにその取り組んだ成果をグラウンドで発揮したいと思います。楽しみにしていただければと思います。

共通テストを終える

3年生が共通テストを終え、家庭研修(本格的な受験)という形になりました。

私は毎年、受験の直前、こんな感じで話をするようにしています。どんな受験結果でも「受け止めて」次の1歩を歩むことができるようにすること、共通テストが終わった翌日、クラス皆が登校して自己採点をしますが、思ったより結果が良くても浮かれた態度を出さない(結果が思ったより悪い人がいるから)、その逆、思ったより結果が悪くても落ち込んだ感じを態度に出さない(周りが気を遣うから、落ち込んでも結果は変わらないから)大人になるというのはそういうことだ、少々厳しい言い方かもしれませんがそのように話しています。

このような時、部活動で様々な経験をしていることはとても活きると思います。大会等で勝利した時、敗退した時の対応と似ているからです。

今回、野球部からは選手6名、マネ1名、浪人生1名、計8名が大学受験に臨んでいます。聞いたところによると、その全員がこのあと(共通テストを活かして)国公立大学を受験するそうです。今現在、誰1人進路が決まっていません。これぞ真の進学校なのではないでしょうか?(進学校を名乗るのは、大学に一般受験をする割合によるのではないかと・・・私はそんな風に感じています)

この子達、夏で高校野球を終えた後は、エネルギーのすべてを受験勉強に注いでいます。ぜひ、4月から志望大学で学ぶ権利を勝ち取って欲しいと思います。

良い報告を待ちます。頑張ってください!